

1. 単元名 かん字のひみつをさぐる

2. 単元目標

漢字の外形(真四角,縦長四角,横長四角,三角)に合う文字を探す活動を通して,漢字には様々な外形があることに気付き,外形を意識して書くことができる。

漢字が他の漢字の部分になると形がどう変わったかを見つける活動を通して,漢字が他の漢字の部分になるときの形や画の終筆(止め,はね,払い)の変化に気付き,字の形に気を付けて書くことができる。

3. 単元計画(全3時間)

第1時 漢字の外形に気を付けて書く。

第2時 形や画の終筆(止め,はね,払い)の変化に気を付けて書く。(本時)

第3時 漢字の外形や形の変化を意識して「漢字のへんしんカード」を書く。

4. 指導上の立場

(1) 児童の実態

本学級の児童は,漢字学習に興味をもち,積極的に漢字を覚えたり書いたりしようとする意欲がある。また,習った漢字を丁寧に書こうという気持ちもある。しかしながら,2年生になって画数の多い漢字が増えるにつれて,形や書き順も複雑になり,漢字を形や書き方に気を付けて正しく書くことが難しくなってきた子どもも見受けられる。正しい書き方・字形などをきちんとつかむことができれば,意識化ができ,定着への第一歩を踏み出すことができると考えている。

(2) 本時について

漢字には,真四角,縦長四角,横長四角,三角など様々な外形があり,またそれは他の漢字に部分になると字形を整えるために形が変わる。このことを理解し,外形や形の変化を意識して書くことで,字形を整え正しく書くことができると考えられる。

本単元第1時では,漢字には様々な外形があることに気付き,外形を意識して書くことで点画の長短,方向,接し方や交わり方に注意して字形を整えて書けることを学習する。

本時では,漢字が他の漢字の部分になると形がどう変わったかや,もとの形のままで他の漢字の部分になるとどこがおかしいかなどを見つけて発表し合う活動を通して,漢字が他の漢字の部分になると字形を整えるために形が変わる必然性を理解させたい。<考えをもつ>場面では,自分の考えを表現しやすくするために,もとの漢字とそれが部分になった他の漢字を並べて形の変化を見比べやすくしたワークシートを用意し,気付いたことを自由に書き込めるようにした。<考えを深める>場面では,それまでの児童の発表を板書に位置付けたものを漢字を正しく書くために気を付けるポイントとして示し,自分たちの気付いたことがすぐ書き文字に反映されるようにした。

(3) 研究テーマとの関連

児童はこれまでに,漢字は部分の組み合わせでできていることや,同じ漢字を部分としてもつものがあることを学習してきている。その実態をふまえ,児童が興味をもちやすい導入の工夫として,「木」という漢字が「林」の部分になると形が『へんしんしている』ことに気付かせ,本時は漢字のへんしんを見破ろうともちかけ,児童の興味・関心を引き出したい。

また,めあてを意識できる活動の工夫として,ワークシートにもとの漢字とそれが部分になった他の漢字を並べて示し,漢字の形の変化に気付きやすくした。<考えを交流する>場面では,児童の発表を漢字カードに印を付けたり言葉を書いたりして板書に位置づけ,形のどこがどう変わったかがひと目でわかるようにし,書くときにすぐ生かせるようにした。それを見て形や画の終筆に気を付けて書くことで,自分の書いた字が形良く正しく書けることを実感させたい。

さらに,学んだことを生かせる活動の工夫として,本単元第3時には,「漢字のへんしんカード」を書く活動を予定している。漢字が元の形を変えて他の漢字の部分になっている字を探してカードに書いていくという活動である。その際,第1時・第2時で学習したことを生かして,使う漢字の外形や形の変化を意識して正しく書くことができるようにしたい。意識化を図りながらの練習にすることで,本当の意味での定着につながっていくと考えているからである。

以上のように学習内容や活動を工夫し,研究テーマにせまりたい。

5. 本時案 (第2時)

目 標	他の漢字の部分になると形がどう変わったかを見つける活動を通して、漢字が他の漢字の部分になるときの形や画の終筆の変化に気付くことができる。 漢字の形や画の終筆の変化を意識して、漢字を丁寧に書くことができる。	
学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援	評 価 の ポ イ ン ト
<p>1. 学習のめあてを知る。</p> <p>2. 他の漢字の部分になると形がどう変わったかを見つける。 <考えをもつ></p> <p>3. 見つけたところを発表し合う。 <考えを交流する></p> <p>4. 字の形に気を付けて、丁寧に書く。 <考えを深める></p> <p>5. 学習のまとめをする。</p>	<p>・漢字の外形には真四角，縦長四角，横長四角，三角など様々なものがあつた事を想起させる。 「木」という漢字が、「林」という漢字の中では形を変えていることに気付かせ、漢字の形の変化を意識して丁寧に書くという本時のめあてを知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> へんしんするかん字の形に気をつけて書こう。 </div> <p>ワークシートの漢字を見ながら，もとの形と比べて変わったと思うところにシールを貼らせ，どこがどのように変わったかを自分の言葉で書かせる。 もとの形と比べて変わったと思うところにシールを貼らせることで，自分の考えを表現しやすくする。 形が変わった漢字を赤鉛筆でなぞらせたり，なぞった部分を囲ませたりして書き方の違いを視覚的にとらえやすくする。 可能な子どもには，どう変わったかを自分の言葉で説明するように伝え，具体的な変身の姿をとらえさせる。</p> <p>もとの形がどのように変わったかを黒板の漢字カードを使って発表させる。 ・漢字カードに印を付けたり言葉を書いたりして，子どもの発表を板書に位置付けるようにする。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> 「木」が「村」になると，縦長の形になっているよ。それと，右にはらうところが短く止めているよ。 </div> </div> <p>・もとの形のままで他の漢字の部分になるとどこがおかしいか発表し合わせることで，形を変えることの必然性に気付かせる。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small; margin-right: 10px;"> 「日」が「書」になると，横長の形になっているよ。もとのままだと，漢字が縦に長くなりすぎるからね。 </div>  </div> <p>それぞれの漢字を形や画の終筆の変化に気を付けてゆっくり丁寧に書かせる。 ・正しい姿勢や鉛筆の持ち方を意識させて書かせる。 ・変身のポイントを想起させ，何に気を付ければいいのかを鮮明にしてから書かせるようにする。</p> <p>自分が気をつけて書いたところに赤鉛筆で印を付けさせ，形や画の終筆の変化に気を付けて書いているかどうか確かめさせることで，本時のまとめとする。</p>	<p>変わった所を見つけてシールを貼ったり，どこが変わったかを自分の言葉で書き記したりすることができた。</p> <p>形や画の終筆の変化に気を付けて，漢字を書くことができた。</p>

--	--	--